

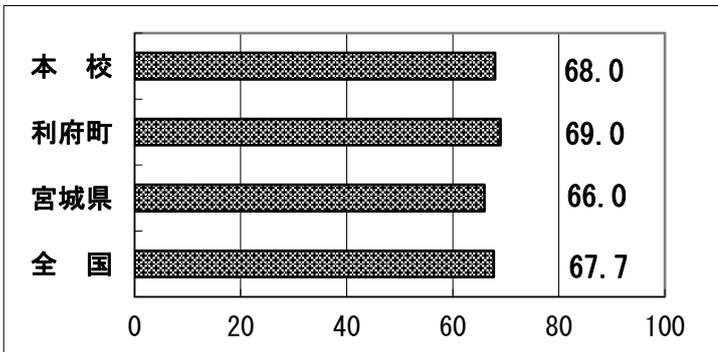
## 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果とこれからの取組

4月に全国の国・公・私立小学校に通う6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われ、その結果が各校に7月末に届きました。これに基づいて、この度、本校の児童の学習や生活の状況について、よさや課題についてまとめましたので、お知らせいたします。

なお、個人票もあわせてお渡しいたしますのでお読みいただき、お子さまのこれからの学習と生活の改善に役立てていただきますようお願い申し上げます。

### 1 学力調査の結果

【国 語】 平均正答率 68%



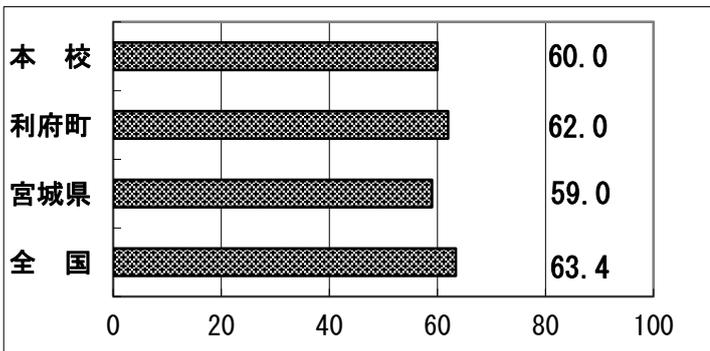
○全国の平均正答率を0.3pt上回りました。

- ・評価の観点別に見ると「知識・技能」では-1.4pt、「思考・判断・表現」では+0.9ptとなりました。
- ・学習指導要領の内容別に見ると、「知識及び技能」に関する「言語の特徴や使い方に関する事項」では-2.6pt、「情報の扱い方に関する事項」では+2.5pt、「我が国の言語文化に関する事項」では-0.5ptとなりました。また、「思考力、判断力、表現力等」に関する、「話すこと・聞くこと」では+2.9pt、「書くこと」では+1.0pt、「読むこと」では-1.3ptとなりました。

具体的な学習状況 (◎ よくできていた点 ● 課題として挙げられる点)

- ◎目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する問題で全国平均を6.8pt上回りました。【問題1の三】
- ◎話し言葉と書き言葉との違いに気付く問題で全国平均を6.5pt上回りました。【問題1の二(1)】
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題で課題が見られました。【問題2の三(ア)(イ)】
- 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える問題で全国平均を5.7pt下回りました。【問題3の二(1)】

【算 数】 平均正答率 60%



○全国の平均正答率を3.4pt下回りました。

- ・評価の観点別に見ると、「知識・技能」では-4.7pt、「思考・判断・表現」では-2.7ptとなるなど、課題が見られます。
- ・学習指導要領の領域別に見ると、「データの活用」の領域では+1.4ptですが、「数と計算」と「図形」の領域ではそれぞれ-4.2pt、「変化と関係」の領域では-5.0ptとなりました。

具体的な学習状況 (◎ よくできていた点 ● 課題として挙げられる点)

- ◎示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断する問題で全国平均を8.3pt上回りました。【問題5の(4)】
- 計算に関して成り立つ性質を活用して、求め方と答えを式や言葉を用いて記述する問題で全国平均を11.0pt下回りました。【問題2の(1)】
- 「直径や円周の長さや円周率の関係」、「速さの意味」について理解しているかどうかをみる問題で全国平均をそれぞれ8.9pt、10.6pt下回りました。【問題3の(2)、問題4の(4)】
- わられる数が小数となるわり算の正答率が全国平均を5.4pt下回りました。また、無解答率も全国平均を6.3pt上回っており、基礎的な計算の技能の定着に課題が見られました。【問題4の(1)】

## 2 今後の取組について

- ◎ 「語彙を増やす」ことや、「推測しながら文意をつかむ」「自分の考えと比較する」「文章で表現された場面や情景を想像しながら読み進める」などの力を伸ばすために読書の奨励をしていきます。朝の読書タイム（月曜日に設定）の時間だけでなく、授業で自分の課題が早く終わった時などに読書をするように声掛けをしていきます。
- ◎ 朝のスキルタイム（木曜日に設定）を活用した漢字練習や計算練習、日々の授業での問題演習などとおして、基礎基本の定着を図ります。

### (1) 国語

- 物語を読む学習では、登場人物の気持ちや相互関係の分かる描写に着目させながら、物語の全体像を想像させたり、表現の効果について考えさせたりする活動を取り入れていきます。
- 学習した漢字は文脈の中で使うことができるように、日頃から練習を積み重ねさせていきます。

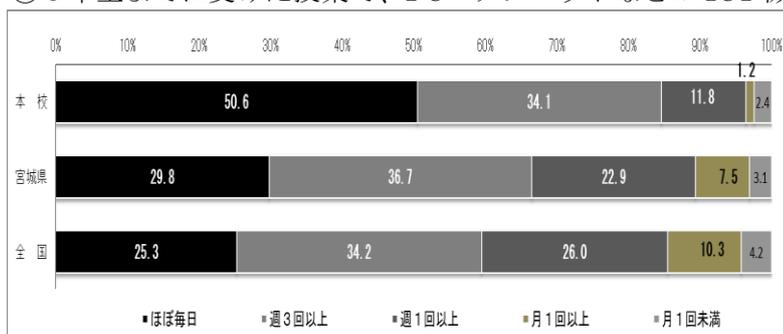
### (2) 算数

- 公式やきまり、計算の仕方などを学習する際には、なぜそうなるのかを式や図、言葉を用いて考えさせたり、説明させたりする場を多く設定し、筋道を立てて考える力を高めさせていきます。
- 文章題で問われていることを正しく読み取ることができるように、問題場面の意味理解、算数的用語の理解と定着、図や表の捉え方などを、授業の各場面で丁寧に扱っていきます。

## 3 学習状況調査の結果

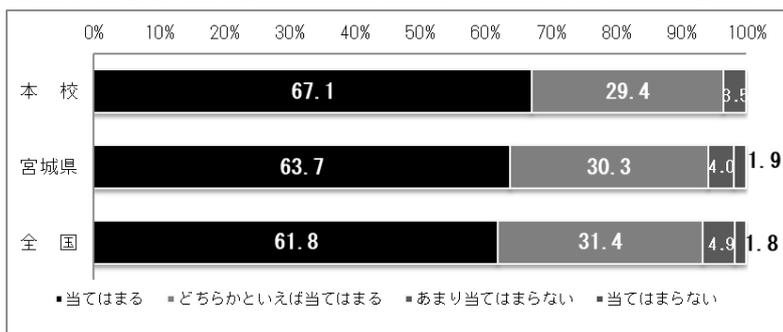
### (1) よい傾向が見られる項目

① 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。



全国や県の平均と比較すると、授業でのICT機器の使用頻度は高いといえます。さらに、関連して約90%以上の児童が「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」といった効果を感じていることが分かりました。今後も効果が上がる指導法を考え、実践していきます。

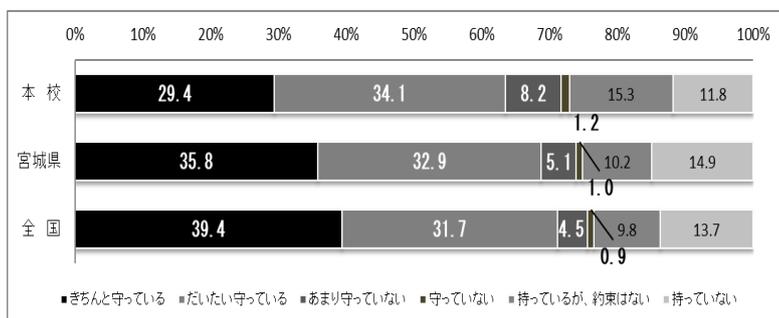
② 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせると96.5%となりました。また、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対しても肯定的に捉えている傾向が見られました。将来を見据え、意欲的に学習に取り組むことができるよう、今後も学ぶ意義を伝えながら日々の指導をしていきます。

### (2) 改善が必要と思われる項目

① 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



これらの機器の使用に関する「約束を守っていない」、「約束自体が無い」などの割合が高いのが現状です。関連してゲームをしたり、動画視聴をしたりする時間も長い傾向が見られます。学校でも指導しますが、今一度ご家庭でも使用の際のルールの確認や設定など、学習環境の整備にご協力をお願いします。